

点検・評価報告書（松戸歯学研究科）

基準 1 理念・目的

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。

<評価の視点>

- ・大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。
- ・理念・目的を教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。

① 学部等ホームページに、以下の項目を掲載し、社会に公表していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科ごとの教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
 一部の項目を掲載していない。
 その他回答

② 履修要覧に、以下の項目を掲載し、学生に周知していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科の教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
 一部の項目を掲載していない。
 その他回答

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

歯科医師は齲蝕や歯周病を治療するだけでなく、口腔の健康を通じて全身の健康を支えるためにますます重要となってきた。本学部及び研究科は歯科医学を「オーラルサイエンス（口腔科学）」と捉え、医学の一分科としての教育を行っている。

基準 2 内部質保証

1 現状分析

点検・評価項目①

内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。
- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。

③ 学部等において、PDCAサイクルをどのように機能させているか、内部質保証体制（内部質保証推進委員会、自己点検・評価委員会、各委員会組織、教授会、執行部会等の役割や関係性）や、活動内容について記述してください。学部等独自のPDCAサイクル図等があれば、ここに貼り付けてください。

内部質保証を機能させる組織として、松戸歯学部内部質保証推進委員会及び松戸歯学部自己点検・評価委員会を学部と一体で設置している。両委員会は互いにけん制がきくよう極力構成員が重複しないような構成としている。基本的には松戸歯学部自己点検・評価委員会にて評価及び対応策の策定を行い、それに対して松戸歯学部内部質保証委員会にて検証・助言等を行っている。

④ 三つの方針について、どの組織が、どのように検証しているか記述してください。

教育の内部質保証システムの構築とその機能の充実を図るべく、平成 29 年度より大学院単独の自己点検・評価委員会及びFD委員会を設置し、授業評価アンケートの集計結果を分析して授業の改善を図り、分科運営委員会に報告し大学院担当教員へ情報の共有が図られている。また、令和6年度からIR小委員会が設置され、授業アンケート結果を分析し、授業内容のブラッシュアップの検討を図っている。学位授与については研究に携わる者として高い知識を持ち、研究課題を解決し博士論文の審査まで至ったことなど大学院分科委員会で検証している。入学者受入れ方針については大学院分科運営委員会において、歯科医学分野の教育者・研究者として、また、臨床家として歯科医学の現場をリードする人材が求められているかなど入学者募集に当たり検証している。

⑤ 外部評価を実施（令和3年度から令和5年度までの期間）している場合、点検・評価項目を記述してください。

（令和4年度）

- ① 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。
- ② 学生の学修を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。
- ③ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

（令和5年度）

- ① 資格の取得状況 国家試験の状況について。

<p>② ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し，教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。</p>
<p>⑥ 外部評価の結果，改善・向上に取り組んだ事項について記述してください。</p> <p>令和6年度から大学院独自の学校関係者評価協議会を立ち上げ，外部評価を実施していく予定である。</p>
<p>⑦ 今後，外部評価，分野別評価，法科大学院認証評価，J A B E E 認定を受審する予定があれば記述してください。</p> <p>令和6年度から大学院独自の学校関係者評価協議会を立ち上げ，外部評価を実施していく予定である。</p>
<p>⑧ 教育の質の向上を図るために，学生からの意見を取り入れていますか。取り入れている場合は，その内容を具体的に記述してください。</p> <p>教育の質向上を図る取組として，各授業科目，大学院特別講義及び研究経過報告会等においてアンケートを実施している。回収されたアンケートは授業担当教員や講演者にフィードバックするとともに，大学院での講義の一層の充実に寄与している。</p>

点検・評価項目②

大学の諸活動の状況等を適切に公表し，社会に対する説明責任を果たしていること。

＜評価の視点＞

- ・教育研究活動，自己点検・評価結果，財務，その他の諸活動の状況等を適切に公表し，社会に対する説明責任を果たしているか。
- ・教育研究活動の情報として，学生の学習実態，学習上の成果に関わる情報を社会に分かりやすく公表しているか。

- ⑨ 学部等ホームページに公表している学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に定める以下の教育情報は，最新の情報に更新されていますか。
- (1) 教育研究上の目的
 - (2) 教育研究上の基本組織
 - (3) 卒業の認定に関する方針
 - (4) 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - (5) 入学者の受入れに関する方針
 - (6) 教員組織，教員の数並びに各教員が有する学位及び業績
 - (7) 入学者の数，収容定員及び在学する学生の数
 - (8) 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況
 - (9) 授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画
 - (10) 成績評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準
 - (11) 校地，校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境
 - (12) 授業料，入学料その他の大学が徴収する費用
 - (13) 修学支援，生活支援，進路支援その他の学生支援

[自己評価]

■全ての項目が更新されている。

□一部の項目が更新されていない。

□その他回答

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取組を行っていること。

<評価の視点>

- ・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し、その結果に基づき、教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑩ 学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

松戸歯学部自己点検・評価委員会にて点検・評価を行っている。

令和6年度から大学院独自のIR小委員会の立ち上げ及び学校関係者評価を実施することになったため、今後改善につなげていく予定である。

2 長所・特色・問題点

【問題点】

学部が小規模な分、全体への浸透が早い一方、委員会の構成員については、どうしても限られてしまうため、その選定に苦慮する。

基準3 教育研究組織

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。

<評価の視点>

- ・大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮した上で、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっ

ている取組及び課題を適切に把握しているか。

- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑫ 学問の動向や社会的要請等に対応すべく、学科や研究所の新設、学科の改組等、教育研究組織の見直しについて、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

学部の学務委員会と連携し、総括として、「松戸歯学部内部質保証推進委員会」で点検・評価を行っている。

歯科に関する学術分野も変化が早いので、それに対応すべく、学部長の諮問機関として講座編成検討委員会を適宜設置し、時代に合った講座となるよう見直しを行うとともに、教員人事委員会とも連携し、将来を見据えた教員配置等の検討を行っている。

また、1学部1研究科のため新設・改組は困難なので講座の見直し、教員の配置替え等で対応している。

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

学務委員会が中心となり、連携して学修効果検証委員会やカリキュラム検証小委員会等で様々な観点から、多面的・きめ細やかに点検・検証を行うよう努めている。

また、研究所は、設置当初から共同研究室制度を整えることで、口腔領域における各専門分野の研究の壁を取り除き、分野を超えた総合的な歯科医学研究をすることに寄与している。

【問題点】

本研究所の研究施設について、その一部が令和6年4月から新校舎に移設されたため、移設後の研究施設の在り方について検討を進めているが、総面積の狭小化などに伴い、移行後に移設予定の研究機器の選定やリプレースなど課題が少なくない。また、継続して利用する予定である研究機器の老朽化が深刻であることから、今後の当該施設の在り方について検討を進める必要がある。

基準4 教育・学習

1 現状分析

点検・評価項目①

達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示していること。

<評価の視点>

- ・卒業の認定に関する方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成及び実施に関する方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。
- ・上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。

[卒業の認定に関する方針について]（修士・博士・専門職学位課程）

⑬ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

定めている。

定めていない。

その他回答

②④ 「学生が修得すべき知識」, 「技能」, 「態度」等, 当該課程・専攻にふさわしい学習成果を示していますか。

[自己評価]

示している。

見直す必要がある。

その他回答

②⑤ ステークホルダーが見て, 分かりやすく, 理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

なっている。

見直す必要がある。

その他回答

[教育課程の編成及び実施に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

②⑥ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

定めている。

定めていない。

その他回答

②⑦ 卒業の認定に関する方針との関連性が明確ですか。

[自己評価]

明確である。

見直す必要がある。

その他回答

②⑧ 卒業の認定に関する方針に基づき, 「教育課程の体系」, 「教育内容」, 「教育課程を構成する授業科目区分」, 「授業形態」, 「学修成果の評価」を示していますか。

[自己評価]

示している。

見直す必要がある。

その他回答

②⑨ ステークホルダーが見て, 分かりやすく, 理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

- なっている。
見直す必要がある。
その他回答

点検・評価項目②

学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。

<評価の視点>

- ・学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成及び実施に関する方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

⑩ 各授業科目は、授与する学位（又は、課程・専攻）と整合していますか。

[自己評価]

- 整合している。
見直す必要がある。
その他回答

⑪ 各授業科目は、体系的に編成されていますか。

[自己評価]

- 編成されている。
見直す必要がある。
その他回答

⑫ 各授業科目の到達目標が、シラバスに明示されていますか。

[自己評価]

- 明示されている。
見直す必要がある。
その他回答

⑬ 各授業科目は、学習時間を考慮し、授業期間及び単位が設定されていますか。

[自己評価]

- 設定されている。
見直す必要がある。
その他回答

点検・評価項目③

課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

<評価の視点>

- ・授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び

教育課程の編成及び実施に関する方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。

- ・授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。

③④ 学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性を踏まえた対応をしていますか。

[自己評価]

- 対応している。
- 見直す必要がある。

■その他回答

学習状況に応じたクラス分けは行っていないが、語学や体育のように少人数教育である方が有効な一部の授業科目においてはクラス分けを行っている。

③⑤ シラバスは、学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容ですか。

[自己評価]

- 十分である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑥ 学生が意欲的かつ効果的に学習できるように、以下の項目について取り組んでいますか。

- (1) 授業の履修に関する指導
- (2) 学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認
- (3) 授業外学習に資するフィードバック

[自己評価]

- 全ての項目について取り組んでいる。
- 一部の項目について取り組んでいない。
- 上記以外の事項について取り組んでいる。
- その他回答

点検・評価項目④

成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。

<評価の視点>

- ・成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。
- ・成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。
- ・既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。
- ・学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。
- ・卒業の認定に関する方針に則して、適切に学位を授与しているか。

⑳ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
 見直す必要がある。
 その他回答

㉑ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
 見直す必要がある。
 その他回答

㉒ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を、客観的かつ厳格で、公正、公平に行っていますか。

[自己評価]

- 行っている。
 見直す必要がある。
 その他回答

入学前の既修得単位の認定は行っていない。博士論文の作成については4年間の一貫した研究のもとに完成するものと捉えており、そこに至る過程での専攻学科目についても本研究科での修得としている。

㉓ 学位授与における実施手続及び体制が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
 見直す必要がある。
 その他回答

[研究指導計画について]（修士・博士課程）

㉔ 研究指導計画を大学院要覧に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
 明示していない。
 その他回答

㉕ 研究指導計画には、入学から学位取得までの研究指導の方法、内容及びプロセスを明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。

- 見直す必要がある。
その他回答

点検・評価項目⑤

卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

<評価の視点>

- ・学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。
- ・学習成果を把握・評価する指標や方法は、卒業の認定に関する方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。
- ・指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、学部として設定する目的に応じた活用を図っているか。

⑬ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法について記述してください。

4年間の在学中に専攻学科目など30単位以上を修得していく。試験や口頭試問などで学修成果を把握している。

⑭ 上記指標や方法を用いて把握・評価した学習成果を、学部等でどのように活用しているか記述してください。

専攻学科目等は博士論文の作成に関わってくるので、担当教員により指導を行っている。

[学位論文審査基準について] (修士・博士課程)

⑮ 学位論文審査基準をホームページに公表していますか。

[自己評価]

- 公表している。
公表していない。
その他回答

⑯ 学位論文審査基準を大学院要覧に明示していますか。

- 明示している。
明示していない。
その他回答

⑰ 学位論文審査基準には、以下の項目が明示されていますか。

- (1) 学位論文が満たすべき水準
- (2) 審査体制
- (3) 審査方法 (項目)

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
一部の項目を掲載していない。

□その他回答

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。
- ・課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。
- ・自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。

⑥ 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等について記述してください。

教育課程及びその内容、教育方法については、自己点検・評価委員会を組織し、1年に1回、学校関係者による評価を実施している。「取組状況に対する意見」等のほかA～Dの4段階による評価を受けている。

⑦ 点検・評価するに当たり、学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報をどのように活用しているか記述してください。

年に1回研究経過報告書を提出するほか、3年次には研究の進捗状況を発表する中間発表会に当たる研究経過報告会などにより学習成果測定を行っている。

⑧ 教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に当たり、自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

自己点検の結果に応じ、FD講演会で改善につながる講演などを実施していく。

2 長所・特色・問題点

令和6年度に竣工した新校舎の新しい施設の中で研究することができ、年間の来院者数が21万人以上の付属病院で研究科在籍中に診察を行うことができる。様々な症例を経験可能な臨床と学位取得を目指す研究を同時に進めることが可能である。

また、国内外の著名な研究者を招き、特別講義や大学院セミナーを開催しているほか、海外派遣奨学生制度により海外の大学や研究機関で専門分野の研究をさらに深めることができる。

基準5 学生の受け入れ

1 現状分析

点検・評価項目①

入学者の受け入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。

<評価の視点>

- ・ 入学者の受入れに関する方針は、学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。
- ・ 入学者の受入れに関する方針は、入学前の学習歴，学力水準，能力等の求める学生像や，入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。
- ・ 入学者の受入れに関する方針に沿い，適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平，公正に実施しているか。
- ・ 入学者選抜に当たり，特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。
- ・ 全ての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。

⑤④ 入学者の受入れに関する方針を学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定していますか。

[自己評価]

- 設定している。
- 設定していない。
- その他回答

⑤⑤ 入学者の受入れに関する方針には，卒業の認定に関する方針及び教育課程の編成及び実施に関する方針を踏まえた「入学前の学習歴」，「学力水準」，「能力等の求める学生像」及び「入学希望者に求める水準等の判定方法」を志願者等に理解しやすく示していますか。

[自己評価]

- 示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

⑤⑥ 入学者選抜を，体制・仕組みに基づき公平，公正に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

⑤⑦ 入学者選抜に当たり，特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。

[自己評価]

- 整備している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

点検・評価項目②

適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに，在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。

<評価の視点>

- ・ 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。

大学基礎データ（表2）

研究科・課程	入学定員充足率の5年平均 (令和2年度～令和6年度)	収容定員充足率 (令和6年度)
松戸歯学研究科（博士課程）	0.57	0.52

- ⑤⑧ 以下の「大学基準協会の評価の指針」により、定員超過あるいは定員未充足の場合は、どのような対策をとっているか記述してください。

該当なし

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・ 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・ 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

- ⑤⑨ 学生の受け入れに関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学院分科運営委員会にて検証している。一般の大学院生は、そのほとんどが歯科大学を卒業し、歯科医師国家試験に合格した上で研修医を修了し、本研究科へ入学している。

しかし、一般の大学院生については近年入学者数が減少しているため、研修医向けの大学院説明会や研究施設の案内を実施することで入学者数増加を図っている。

そのほか、社会人大学院生の募集に力を入れており、現在臨床の現場で働く社会人にも自身のキャリアアップと最新の歯科医療を経験できる魅力を伝えている。外国人留学生入試も実施しており、海外からの研究者も受け入れることで研究の多様性が広がり研究科全体の活性化につながっている。

2 長所・特色・問題点

社会人大学院生の多くが開業歯科医師であるため、毎日の勤務があるため、自身の研究や論文の指導を受ける時間がとりにくい状況にある。

基準6 教員・教員組織

1 現状分析

点検・評価項目①

教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。

<評価の視点>

- ・「学部等教員組織編制方針」に基づき、教員組織を編制しているか。
 - ▶専任教員数の遵守、教員の構成
 - ▶教育効果に配慮したクラス編成、専任教員の授業負担への配慮
 - ▶教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化
 - ▶教員の資質向上
 - ▶その他、学部等として重視するポイント
- ・教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。
- ・TA、SA又はGSAを置いている場合、ガイダンスや研修を実施した上で業務をさせているか。

(修士・博士課程)

⑥③ 各専攻における研究指導教員数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
- 一部の専攻において満たしていない。
- その他回答

(修士・博士課程)

⑥④ 各専攻における教授数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
- 一部の専攻において満たしていない。
- その他回答

(修士・博士課程)

⑥⑤ 各専攻における研究指導教員数及び研究指導補助教員数の計は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
- 一部の専攻において満たしていない。
- その他回答

⑥⑦ 特定の教員に過度な授業負担が生じないように、どのように配慮しているか記述してください。

講座制をとっており、各講座の責任者の責任と権限の下、担当授業科目及び時間数を毎年度見直している。また、多くの科目が複数名で担当するオムニバスの体制をとっていること、優秀な非常勤講師を採用することで、専任教員の負担軽減を図っている。

68 教育研究活動を実現するために、教員と職員とがどのように役割分担をし、それぞれの責任を明確にし、協働・連携しているか記述してください。

教職協働を行うには、職員はその専門分野において教員と同等の知識や見識を持つことが望まれるが、そのためには企画力や構想力を含め格段の探求が必要であるため、活発にSD研修会等を実施し、大学の諸業務に対応している。

69 TA, SA又はGSAを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

配置していない。

点検・評価項目②

教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。

<評価の視点>

- ・教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。
- ・年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。

70 教員を採用するに当たり、どのような方法（公募等）で募集しているか記述してください。

大学院設置基準及び各講座の定員数に基づき、専任教員の定年等による退職に鑑み、次年度以降の採用数を決定した上で、公募を実施している。公募については歯科医師国家試験の傾向等も考慮し、学内外問わず実施している。ただし、助教の採用については、本学の特色を十分に理解している本学部専修医及び専修研究員として在籍をしている若手を積極的に採用することで即戦力としている。

71 「教員の募集」、「教員の採用」及び「教員の昇任」について、明文化された基準及び手続に従い公正に行っていますか。

[自己評価]

公正に行っている。

基準や手続き方法を見直す必要がある。

その他回答

72 教員の年齢構成に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

定年による退職者の補充は基本、助教採用といった若手の採用を行うことで平均年齢が高齢化とならないように注意している。

73 教員の男女比に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

新規採用に当たり、男女関係なく能力の高い人物を採用するよう尽力しており、その中で、偏りが著しくならぬよう注意しているところである。現在のところ男女比は7：3となっているため、これ以上の開きが生じないように注意しているが、昨今では公募をかけても申請の絶対数が少ないことと大学院設置基準を満たすことが最重要課題であることから悩ましい問題である。

⑭ 大学院担当教員の資格審査基準は、大学院設置基準第9条第1項各号に沿ったふさわしい内容となっていますか。

[自己評価]

ふさわしい内容である。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目③

教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取組を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。

<評価の視点>

- ・教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取組を行い、成果を得ているか。
- ・教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取組を行い、成果を得ているか。
- ・大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し、教育活動、研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。

⑮ 教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるために、どの組織が、どのように取り組み、その結果どのような成果を得ているか記述してください。

研究科に自己点検・評価委員会を組織し、その結果を次につなげていくため大学院FD委員会を中心となり改善につながる講演会等を開催していく。

今後についても実施後に参加者に対し、アンケートを行うことにより講演内容や開催形式について改善を進める。

⑯ 教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、どの組織が、どのように取り組み、その結果どのような成果を得ているか記述してください。

松戸市と様々な形で連携を図っている。例えば、キャンパスを避難地とする契約を締結、市民祭りへの参加及び公開講座の実施等を行っている。

地元歯科医師会などと連携し、児童から高齢者まで各年齢層を対象とした咀嚼トレーニング等を実施することにより、QOLの維持と全身の健康に寄与する研究成果を基盤とした啓発活動に取り組んでいる。また、産官学連携の可能性のある研究は、学部ホームページ上で案内を行い、本学部付置研究所に設置している現存研究用機器を紹介することで、委託研究及び共同研究の受入れを推進している。

外部研究資金の獲得に関しては、日本大学研究者情報システムの定期的な更新を促し、最新の情報を発信することで外部に向けてのアピール強化を図っている。また、科研費獲得には特に力を入れており、全専任教員の応募を令和3年度から義務化し、学内研究費の傾斜配分額の決定に反映させている。さらに採択率向上を目指し、公募開始1か月前から申請者の中で希望する者には、学部研究委員会委員及び本学部特任教授による事前相談や申請書類の事前ブラッシュアップを実施している。

また、併設する付属病院では地域医療に力を入れており訪問診療の充実を図っている。また、近隣の市町村とも連携し歯科検診への歯科医師や歯科衛生士の派遣等も行っている。

なお、それぞれの取組については、所管する委員会・部署にて発案・検討を行っているが、実施等については担当会や教授会等で審議若しくは報告している。

⑦ 教員の教育活動、研究活動、社会活動等に関する業績について、どの組織が、どのように評価しているか記述してください。

自己点検・評価委員会及びFD委員会で、教員ごとに計画票及び自己点検評価票の作成を依頼している。その内容については上長者により確認をするとともに必要に応じてヒアリングを実施し、評価を行っている。その内容については委員会で報告され、その実施方法や項目等の見直しを随時実施している。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑧ 教員組織に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

教員人事委員会において、専任教員の定年を見据えた10年後までの教員配置計画を基に各年度における充足が必要な教員数、特に設置基準に基づく教授人数を確認し、計画的な教員採用計画を策定している。また、助教等の任期制教員については契約更新時に教員人事委員会にて任期中の実績を基に契約更新の可否を含めた審査を実施することで教員の質の担保を行っている。

大学院設置基準を基にした配置を重視し、数年先までの教員配置計画を定期的に確認することで、専任教員が過度に不足しないよう注視している。

また、点検・評価を行い、次回以降に向けて改善・向上を図っている。なお、作成した教員配置計画については、担当会や教授会でも諮り、学部全体で共有されている。

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

単科学研究科となるが、様々な分野の講座で構成されているため、そのバランスをとりつつ、付属病院での診療も行っているため、その内容を見ながら適宜見直しを行っている。

【問題点】

今後、定年退職を迎える教員が多数いるため、その円滑な世代交代と人員確保が懸念事項となる。

基準 7 学生支援

1 現状分析

点検・評価項目①

学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関する大学としての方針に基づき、各種の学生支援体制を整備し、教員と職員がそれぞれ役割を果たしながら支援を行っているか。
- ・各種の学生支援に当たり、専門的な知識・能力や経験を有する者を含む必要なスタッフを配置しているか。
- ・学生支援に関する情報を学生に積極的に提供するとともに、その支援は学生の利用しやすさに配慮しているか。

[修学支援（学習面）]

- ・学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。
- ・障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。
- ・学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応しているか。

[修学支援（経済面）]

- ・学生に対する経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援等）を、学生の実態等に応じて行っているか。

[生活支援]

- ・学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。
- ・学生の孤立を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。

[進路支援]

- ・各学位課程（学士課程、修士課程や博士課程等）や分野等における必要性、個々の学生の特性等に応じ、就職支援のほか、職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。

[その他支援]

- ・上記のほか、部活動・ボランティア活動等の正課外における学生の活動への支援等、必要に応じた支援を行っているか。

[学生の基本的人権の保障]

- ・ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応等、学生の基本的人権の保

障を図る取組を行っているか。

[修学支援（学習面）]

㉞ 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるように、どのようにサポートしているか記述してください（補習教育，補充教育，学習に関わる相談）。

専攻学科目については担当教員が，論文の作成については指導教員が個別に対応している。

㉟ 留年者について，どのように状況を把握し，どのように対応しているか記述してください。

研究の進捗により修了を延期する者については指導教員により改善のアドバイスをしている。

㊱ 退学希望者について，どのように状況を把握し，どのように対応しているか記述してください。

大学院生は各講座に所属しているため，本人若しくは講座担当者から相談があり把握することとなる。把握したのち，双方に確認をした上でやむを得ない理由がある場合は手続を進めることとなる。

㊲ 留年者や退学希望者の減少に向けて，どのように取り組んでいるか記述してください。

大学院生と指導教員との十分な連携により研究を進めているが，研究していく上で，新たな課題が見つかった場合などは他の講座の協力も得て，円滑な研究が継続できるよう配慮している。

[修学支援（経済面）]

㉛ 学生に対して，経済的支援（授業料減免，学内外の奨学金を通じた支援を除く）をどのように行っているか記述してください。

研究科としては奨学金による支援を実施しているが，本人から相談があった場合は，学費分納，学費ローンの紹介（会計課）を実施している。

[生活支援]

㉜ 学生の孤立化を防止するため，人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）をどのように行っているか記述してください。

大学院生向けの交流会等は実施していないが，各学科目横断型の大学院共通科目の受講やT A業務，附属病院での診療を通じて人間関係を構築している。

[進路支援]

㉝ キャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援をどのように行っているか記述してください。

歯学研究科の特性から、キャリア形成支援は限定的になるが、学生の就職支援については、学生課が中心となって、毎年全国から送られてくる歯科医師等の求人票をファイリングして検索できるよう整備している。

[その他支援]

⑥ 正課外における部活動・ボランティア活動等の学生の活動について、どのように活性化を図っているか記述してください。

学外からのボランティア募集案内があれば学生課の掲示板に告知している。

[学生の基本的人権の保障]

⑦ ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応等、学生の基本的人権の保障を図る取組について記述してください。

大学院生は多くを各講座の研究室で過ごす、ハラスメントについては大学院担当、各指導教員及び学生課などが連携し苦情申立ての対応を行っている。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑧ 学生支援に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生生活委員会において、各学年の教員から問題点を挙げてもらっている。
主に成績不振及び体調不良の学生の問題が多く、教員の指導により改善の努力をしている。
直近では学食の営業停止により学生生活委員会委員長等にも意見を聞きながら対応している。

2 長所・特色・問題点

【特色】

本研究科の大学院生は社会人大大学院生が多いため、学部学生のような手厚い支援を必要としない。

【問題点】

外国人留学生が在籍しているため、外国人留学生については研究のみならず、言葉や日々の生活に慣れるまで支援が必要となる。支援が必要となる可能性がある大学院生と密にコミュニケーションをとることにより十分な支援ができているのかヒアリングを行う必要がある。

基準 8 教育研究等環境

1 現状分析

点検・評価項目①

教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。

<評価の視点>

- ・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。
- ・学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境やICT機器を整備し技術的な支援を行う等により、それらの活用を促進しているか。
- ・学生及び教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。

⑧9 バリアフリーへの対応をしていますか。

[自己評価]

全ての校舎において対応している。

一部の校舎において対応していない。

令和6年度より教育研究等の場として中核を担う機能が集約される「50周年記念棟」が新築され運用が開始されており、こちらはバリアフリーに対応しているが、まだ一部体育館（食堂棟併設）など竣工時期の古い建物については対応できていない。今後の建替え計画等の中で順次対応を検討する予定である。

その他回答

⑧0 施設、設備等の安全・衛生の確保に取り組んでいますか。

[自己評価]

全ての校舎において対応している。

一部の校舎において対応していない。

その他回答

⑧1 施設、設備等の維持及び規定に基づいた管理をしていますか。

[自己評価]

全ての校舎において対応している。

一部の校舎において対応していない。

その他回答

⑧2 学生や教員に対し、ネットワーク環境やICT機器に関する技術的な支援をどのように行っているか記述してください。

令和6年4月から新校舎の運用を開始しており、その中で本部IT管理課と連携を行うことで、学生及び教職員各々を対象に、適した環境を構築している。現在、一部未完成の項目(eduroam構築)もあるが、令和6年度中には全て完成し、今以上に安定した環境を提供できるようになる予定である。

⑧3 学生の自主的な学習を促進するために、どのように環境整備をしているか記述してください。

学内に「ラーニングコモンズ」を設置し、学生の主体的な学修を支援している。また、「学生自習室」に個別の自習用ブースを設置し、主に国試対策用の学修スペースとして貸与している。

⑨4 学生に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

本部から配布されるリーフレット等を配布し、継続的に情報倫理に関する啓蒙を継続的に実施している。また、学内のポータルサイトの分かりやすい箇所にガイドライン等を配置しており、確認をしやすい環境を整えている。

このようなことについて対応するために学部内に情報センター運営委員会（基本的に月1回開催）を設置し、ネットワークの管理、個人情報の取扱い等の検討を行っている。

また、学生に対しては情報リテラシーに関する授業を実施しており、情報倫理に関する啓蒙を学部として実施している。

⑨5 教職員に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

本部から通知等を共有するとともに、学部ポータルサイトに様々な情報を掲載している。

点検・評価項目②

図書館サービス及び学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また、それらを適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。
- ・図書や学術情報資料の利用促進するための取組を図っているか。
- ・図書館には、学生及び教員の利用のために、必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また、図書館等の施設環境が適切であるか。

⑨6 図書や学術情報資料の利用促進のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

- ・新着図書案内を毎月実施している。
- ・希望図書の購入要望を受け付けしている。
- ・利用者からの質問及び回答を課内で周知している。

⑨7 司書有資格者の人数を記載してください。

専任職員：1人、臨時職員：0人、派遣職員：0人、業務委託職員：3人

⑨8 図書館分館独自の取組について記述してください。

テーマを決めて展示を実施している。

点検・評価項目③

研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。

<評価の視点>

- ・研究に対する大学の基本的な考えに沿って、長期的な視点に立った支援や条件整備を十分に行い、各教員の研究活動の活性化につなげているか（教員に対する研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援、若手研究者育成のための仕組みの整備等）。
- ・研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取組を行っているか。

⑨ 外部資金獲得のために、どのような学部等独自の制度や取組があるか記述してください。

科研費獲得に向けたセミナーを、獲得実績豊富な教員を講師として実施している。また、研究員会委員が研究計画調書のブラッシュアップ支援を実施している。

外部資金（受託／共同研究、研究奨励寄付金、科研費等）による管理経費（間接経費）の合計額の比率に応じて傾斜配分額を加算している。一方、科研費に応募しなかった専任教員は、一定額を減額している

⑩ 研究時間確保や研究専念期間保障のために、どのような制度や取組があるか記述してください。

制度及び取組なし

⑩ 若手研究者育成のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

本学部の若手研究者の中核を担う専修医・専修研究員（特に臨床講座）に対して付置研究所研究費共同研究費（競争分）の一部を若手臨床研究支援として配分し、効果的な研究支援システムの構築を目指している。令和6年度からは、従来研究費を配分していなかった専修医・専修研究員に対して一定額の研究費を配分している。

⑩ RAやPDを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

置いていない。

⑩ 学生に対して、研究倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

大学院学生に対しては、シラバスに則した研究倫理教育を実施しており、加えて、公正な研究活動の推進に係る研究倫理教育として APRIN eラーニングプログラム及び研究費不正使用防止に係るコンプライアンス教育として本部が作成しているビデオ講習の受講を義務付けている。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 研究等環境に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

付置研究所では、各研究施設に研究施設責任者を置き、各責任者は、常に研究施設の利用者及び利用状況等を把握し、研究装置等の管理状況を確認する体制を取っており、障害等の状況を集約して、研究所の運営委員会で対応等を検討している。また、毎年度成果報告書を作成することで各研究施設や研究活動を点検・評価しており、研究の実施・進捗状況や成果を把握している。こうした一連の取組により直接的かつ明瞭な改善・向上はないものの限られた予算を付置研究所研究費共同研究費（競争分）として重点的かつ適切に配分することなどに役立っている。

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

令和6年4月から新校舎（50周年記念棟）の供用開始により、最新設備での教育研究活動が可能となった。

【問題点】

供用開始間もないため、今後更なる教育研究の充実のために様々な検討を行い、学生へ修学しやすい環境を整える。

基準9 社会連携・社会貢献

1 現状分析

点検・評価項目①

社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取組を実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。

<評価の視点>

- ・学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取組を行い、社会に対し周知しているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する取組により、地域や社会の課題解決等に貢献し、学部等の存在価値を高めることにつながっているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知させる取組を行っているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知するために、情報にアクセスしやすいように特設サイトを開設しているか。

[自己評価]

特設サイトを開設している。

特設サイトを開設していない。

情報を周知するために、HPの迅速な更新に努めている。

その他回答

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

社会連携・貢献を主で行う組織はないが、各部署が連携し対応している。なお、当該案件の実施の際は担当会等で報告若しくは審議することとし、その結果についても極力報告するようにしている。

2 長所・特色・問題点

【問題点】

従前より社会連携・貢献に努めており、緊密な関係を築いているが、比較的個々での対応が多く、その内容が偏る傾向にある。今後は学部全体で組織としていく体制を構築していく必要がある。